



Japanese Internationale
Schule München e.V.
Bleyerstr.4 D-81371 München

「感じる心」～道徳授業を通して～

校長 山下 理恵

この日曜日にやっと待望の？雪が降り、今日はバイエルンの青い空の下、楽し気に雪で遊ぶ子供たちの歓声が中庭から響いていました。

さて本校は重点目標を「豊かな心の育成」とし、目指す児童・生徒像「やさしい子」育成のキーワードを「感じる心」としています。子供たちは、学校生活を通し、周りの人々と様々なかかわりを持ちます。「やさしい子」とは日々のかかわりの中で思いやりある言動・行動が自然と表れる子です。そのためには「感じる心」を常に磨いておかなければなりません。学校における「道徳の時間」は「感じる心」を磨く大切な役割があります。2学期は心磨きの一助になればと、「校長道徳」として小学部1年生から中学部3年生までの道徳授業を行いました。方法は「道徳資料集」から担任が子供たちの実態に合わせた資料を選び、それをもとに私が授業をするというものです。

道徳には、**1**主として自分自身に関すること **2**主として他の人とのかかわりに関すること **3**主として自然や崇高なもののかかわりに関すること **4**主として集団や社会のかかわりに関するものという4つの大きな柱があります。その柱を中心とした授業のねらいを年間を通してバランス良く取り扱うことが大切です。今回の授業で扱った資料とねらいは以下に挙げたものです。

8月26日	小学部3年	「ヒキガエルとロバ」	生命尊重	3- (1)
9月 2日	小学部1年	「うかんだ うかんだ」	勤勉努力	1- (2)
9月12日	小学部2年	「6つのとんがりのある校章」	愛校心	1- (4)
10月 7日	小学部4年	「親切な方へ」	親切	2- (2)
10月12日	小学部5年	「この水のために」	生命尊重	3- (1)
11月 8日	小学部6年	「江戸しぐさ」	礼儀	2- (1)
11月15日	中学部1年	「正義ってなに？」	正義・公平公正	4- (3)
11月29日	中学部2年	「金語楼さんのこと」	自主自律・誠実と責任	1- (3)
12月 2日	中学部3年	「命見つめて」	国際理解と平和・人類愛	4- (10)

道徳の授業では、資料中の登場人物の気持ちを考えることを通して、自分自身の心の声に気付いていきます。授業では、どの学年もよく考え、登場人物の気持ちになり、たくさんの意見を発表することが出来ました。中学部では、「役割演技」という手法を使いましたが、照れを乗り越え、演技を通して真剣に意見を交換し合うことが出来ました。小学部の授業の際にも一人一人の「感じる心」の成長と日々の学習の成果である「伝える言葉」の確実な広がりにつれ、改めて本校の子供たちの素晴らしさを実感しました。今後とも子供たちの「感じる心」を育むために様々な教育活動を通して全職員で努力して行きたいと考えております。

明日からの冬休み、日本への一時帰国、家族旅行等子供たちが楽しみにしていることが沢山あると思います。子供たち全員が健康に十分気をつけ、安全に過ごし、また3学期に元気な顔を見せてくれることを願っています。

保護者・地域関係者の皆様方には今学期も心温かいご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

児童生徒数

2011年12月20日現在

	小学部							中学部				総計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	合計	
男	11	12	12	11	10	6	62	4	6	4	14	76
女	14	8	9	7	7	8	53	8	2	4	14	67
計	25	20	21	18	17	14	115	12	8	8	28	143

退学： 小1年 1名 、 小2年 3名
小3年 1名 、 小6年 1名 、 中学部2年 1名

ミュンヘン日本人国際学校で過ごした日々を忘れないで頑張ってください。応援しています。

学校の風景

～小学部～

12月6日（火）にニコラウスが学校にやってきました。日本ではサンタクロースですが、ドイツではニコラウスという名で親しまれています。この活動は、ドイツならではの現地理解教育の一環として行われました。ニコラウスから子どもたちに向けて学校生活についての話がありました。その後、ニコラウスからプレゼントを受け取りました。



また、8日（木）は児童集会（クリスマス集会）もあり、この週はクリスマス気分満点でした。集会では、「赤鼻のトナカイ」を歌ったり、ツリーに飾りをつけたりしました。

ディアクセン校との交流 5・6年生

12月14日に、ディアクセン校の6年生の子どもたちと、本校の5・6年生の子どもたちが交流活動を行いました。お互いに最初は緊張していたようですが、コミュニケーションゲームを終えた時点で少しその緊張がほぐれ、習字・日本の昔遊び・おにぎり作りの3つのアクティビティを終える頃には、自分のペアの友だちの名前を大きな声で呼ぶ姿が見られました。

習字では、ドイツの友だちの名前をどんな漢字で表そうかと、漢字辞典で一生懸命に探したり、日本の遊びでは、羽子板でミュンヘン校・ディアクセン校が入り乱れて熱い戦いを繰り広げたりと、互いに打ち解けていく様子がとても微笑ましかったです。

3学期は、本校の子どもたちがディアクセン校へ行きます。今回よりさらに活動的・発展的な交流を目指したいと思います。



～中学部～

国語科 ゲストティーチャー特別授業

去る12月5日（月）に、国語科の読書指導の一貫として、作家のいそのなほこさんをお迎えして、特別授業を行いました。いそのさんは、「リューヤと魔法の本」シリーズのご著者です。今回、一冊の本が自分の手元に届くまでにどんな行程を経ているのか、また、いそのさんが作家としてどのようなご苦勞をされてきたのかなどをお話いただきました。

「本ができるまで」というテーマでお話をしていただきましたが、いそのさんご自身が最初に出版されるまでに7年の月日を費やしたということ伺いました。夢をあきらめない強い気持ちを持つことの大切さや生徒一人ひとりが自分の将来や生き方についても考えるよい機会となりました。



生徒会活動 中3 激励会



12月14日（水）に生徒会主催による「中3 激励会」が行われました。3年生の先輩方へのこれまでの感謝の気持ちを伝えると共に、これからそれぞれの進路に向かっていく先輩方を応援する気持ちを伝えるために、執行部を中心に計画を立てて当日を迎えました。3年生を囲んで昼食を食べた後、今までの思い出をスライドで紹介しました。また、3年生の先輩方とドッジボールや玉入れなど体を動かし、中学部での思い出がまた一つ増えました。会の終わりには、3年生が一人ずつ1、2年生へメッセージを送りました。笑顔があふれ、心のこもった温かい会になりました。



3年生には後輩の思いを胸に、それぞれの進路に向かって、がんばってほしいと思います。

～ドイツ語授業～

いよいよ冬休みが近づいてきましたが、皆さんはもう予定を立てましたか。日本に帰られる方もそしてヨーロッパ内の旅行の予定がある方もいらっしゃるでしょう。ミュンヘンで休みを過ごす方には、色々な地元の情報がありますので少しお知らせしたいと思います。

タールキルヘンの動物園で2頭の象の赤ちゃんが生まれ、地元の人気を集めました。また、体を動かすことなら、アイススケート場もあります。水さえ凍れば市内に例えばカールスプラッツ(Karlsplatz)、 ニンフェンブルク城の運河 (Nymphenburger Kanal)、プリンツレーゲンテンスタジオン(Prinzregentenstadion)でアイススケートをすることができます。

ちょっと珍しいと思いますが、クリスマスの前にクリスマスツリーを切り倒そうという体験も可能です。自分で雪が降るなか森に行き、木を選んで、切って家へ運ぶのはドイツ人にとってもクリスマスらしい気持ちを盛り上げます。Schloss Unterweikertshofen でこのような面白い体験ができます。(http://www.christbaumverkauf.com) もし行かれる場合は、必ず営業時間を確認してください。興味があれば、是非行って試してみてください。

Frohe Weihnachten!!

(文責 ドイツ語部 マウアージッヒ、マウラー)

体力調査の結果をもとに…

秋にそれぞれの学年で取り組んだ新体力テストの結果を考察しました。簡単に本校の児童生徒の日本の全国平均と比較した傾向をお伝えします。

- 握力や上体起こしなどの筋力については、全国と比べても平均的である。
- 小学部のソフトボール投げが、やや劣る。
- 反復横跳びによる俊敏さ等は、昨年からの取り組みにより向上傾向が見られる。
- シャトルランによる全身持久力は、平均的かやや劣る。(個人差がかなり大きいことも課題である。)
- 中学部は全身持久力に課題がある。特に女子の持久力が低い傾向。

以上のような課題を踏まえて、今後も体力向上の取り組みを検討していきたいと思います。

これから、本格的な冬を迎えて外での運動の機会が減ってきます。体育館で可能な体力を高める運動、トレーニングを積極的に行っていきたいと思います。ご家庭でも、お風呂上がりに一緒にストレッチをするなどの工夫をして、子どもたちの強く、しなやかな体作りを支援していただけたらと思います。特に、悪い姿勢は、子供たちの運動能力や知的成長に影響を及ぼすと言われています。今、ストレッチの世界で大切にされているのが「背骨のS字カーブ」です。ちゃんとこのS字カーブがあるのでしょうか。猫背になってしまうと、このカーブは消えて様々な機能の成長に良くありません。横隔膜が固くなって、猫背になりがちな現代の子どもたち。しっかりとお腹(横隔膜)を伸ばして柔らかくすることで、肩や脳に十分な血液が流れ、心肺機能や集中力が高まると言われています。ストレッチの効果も大切にしながら体力、知力ともにバランスのとれた子どもたちの育成を目指します。今後ご家庭のご支援・ご協力をお願いいたします。



音楽科の授業としてバイエルン放送交響楽団公開リハーサルの見学に行きました。

12月7日(水)の午後、5・6年生と中学部全の中にあるヘラクレスザールで聴きました。この行われる最後のリハーサルを、5年生以上の児童おおうということで企画されたものです。

今回の曲目は、ブルックナー作曲の交響曲第...を聴く子も多くいました。子供たちの感想を一部『行く1日前から鑑賞会のことでうきうきしていませんでした。』(小5)

指揮者のヘルベルト・ブロムシュテット氏は今年84歳。NHK交響楽団の名誉指揮者も務める名指揮者。まずは彼が優しい口調で、曲について詳しい説明を行い、『そしてついに指揮者が指揮棒を動かした。演奏者の注目の先がいきなり指揮者に向いた。どの顔も真剣だった。』(小6)



指揮者の微妙な身体の動きがオーケストラ全体をうまくコントロールし、『まるで指揮者が音をあやつつているような錯覚を覚えました。』(中2)『私は指揮者はシェフのようだと感じた。指揮者にもシェフにも楽譜やレシピがあるが、本人の解釈や調理の工夫で完成品はかなり違ってくる。そ

の工夫の仕方は人それぞれに違うが、確実に完成に導くように指揮をし、その指揮者に応えるのが演奏者。この両者の求める音楽が一つになった時、始めてオーケストラ独自の音楽ができあがるのではないだろうか。』(中3)

多くの子どもたちが、指揮者と演奏者との強い信頼関係によって、完成度の高い芸術品が生み出されていると感じ取り、『ホールいっぱい広がる迫力のある音、小さい音でも音が広がっていく感じがしました。』(中1)



方のおもしろさを発見した子どもたち。『たい』とたくさん子どもたちが綴ってく

毎日のようにすばらしいコンサートが、チャンスがたくさん生かしたいですね。

演奏会

「みなさんができること」

毎年お世話になっている田中健一先生は、海外邦人医療基金の医師メンバーとしてご活躍されています。今年は本校で歯の健康診断とともに、小学5年生から中学3年生までの児童生徒を対象に震災ボランティアの体験をお話していただきました。

先生は、震災が起きたとき、すばやく現地に赴きました。その後も各界の様々な方々からの協力や支援を受けながら、現在までに14回現地に行っています。その体験を踏まえて、現地の様子、現地で望まれていること、また実際に自分が実行できた事や考えさせられたこと等を具体的にお話ししていただきました。先生は、「机上では答えが出せることでも、現実には答えが出せないものもあります。世の中には、答えが出せない事柄がたくさんあります。でも、一番いけないことは立ち止まってしまうことです。人から言われるのではなく、自分で判断することが最も大切なのです。判断するとき、自分自身の心と直感に従う勇氣を持ってください。」「当たり前、毎日学校で学習できることに感謝して欲しいのです。」というメッセージを子供たちに送られました。

特別授業を通して子供たちは、田中先生と一緒に想像力を働かせ自分たちの心を耕すことができたのではないかと思います。



お知らせとお願い

○冬休みの生活について

12月21日(水)から冬休みになります。終業式に配付する生活指導部からの「冬休みの生活について」お読みいただき子供たちが安全で有意義な冬休みを過ごせるよう、よろしくお願ひいたします。

特に年末・年始は、家庭や社会の一員としての自覚を促し、望ましい活動や体験をさせることのできるよい機会です。海外で生活している良さを生かして家族と一緒に過ごされる時間を大切にし

てください。また、日本へ一時帰国されたときは、是非とも年末・年始の伝統行事などにも参加し、子供たちの体験の幅を広げていただきたいと思います。

元気な顔で始業式に会えるのを楽しみにしています。

○学校診断アンケートにご協力ありがとうございました。

保護者の皆様にご協力いただきました「学校診断アンケート」は、現在集計をしております。その結果やご意見等を学校教育診断として今後の学校経営に生かしていきたいと考えております。

また、アンケートの数値結果やまとめにつきましては、後日学校便りなどでお知らせしたいと思います。

○冬休みの学校開放について

- 1 場所 地下図書室、図書室、卓球場、体育館
 - 2 期間 12月21日（水）～12月23日（金）
 - 3 時間 10：00～16：00
 - 4 対象 本校児童生徒およびその家族（小学生は保護者同伴とする。）
 - 5 注意事項
 - ① 保護者は、保護者証明書を携帯して校舎に入る。
 - ② 児童生徒は職員室にある利用記録簿に必要事項を記入してから利用する。帰るときも必要事項を記入してから帰る。
 - ③ 体育用具室に児童は入らない。用具は、保護者が出し入れを行う。
 - ④ 備品の破損・事故等があった場合は、速やかに教師に届け出る。
- * 課外部活動も含め、休業中の事故・怪我は学校保険が一切適用されません。あくまでも利用者（保護者）の責任となります。

○「帰国子女のための学校便覧2011」を寄贈していただきました。

財団法人 海外子女教育財団から日本国内の帰国子女受入校(小学校～大学)の入学・編入学ガイドブックを寄贈していただきました。帰国後の入学・編入学情報にお役立ていただければと思います。エントランスに置いておきますので、ご来校の際にご覧ください。

○ミュンヘン日本人国際学校「児童生徒募集説明会」及び「体験入学」について

- 1 期日 平成24年2月10日（金）
 - (1) 児童生徒募集説明会……15：30～16：30
(入学・編入学希望保護者)
 - (2) 体験入学……15：30～16：30 (小学校 新1年入学希望児童)
 - (3) スクールバス委員会より……16：30～17：00

- 2 会場 ミュンヘン日本人国際学校
Bleyerstr.4 D-81371 München
U3 Brudermühlstr. 下車 徒歩5分

3 内容

(1) 児童生徒募集説明会

- ① 募集対象者……平成24年4月1日現在 満6歳から14歳の児童生徒
(小学校新1年から中学校3年の児童生徒)
- ② 説明内容……学校概要全般、学校生活全般、入学・編入学手続き、スクールバスの利用についてなど

(2) 体験入学

- ① 参加対象者……小学校新1年生
- ② 体験内容……簡単な作業、音楽遊び、軽い運動など

4 その他

- (1) 当日午後1時15分から2時50分までは公開授業参観となっておりますので、本校の授業の一端をご自由にご覧ください。
- (2) 参加される方は、上履きをご持参ください。また、体験入学を参加希望のお子さんは、運動できる服装と上靴をご用意ください。
- (3) 本校には駐車場がありませんので公共交通機関などをご利用ください。
- (4) ご不明な点は学校(教頭 松浦)までご連絡ください。



**○みなさまの会社やお知合いの方で、次年度本校に
入学予定のご家庭をご存じの方は、本校へお知らせ
ください。**

日	曜	1 月 行 事 予 定
1	日	<i>Neujahr</i>
2	月	学校休業日
3	火	学校休業日
4	水	
5	木	
6	金	<i>Heilige Drei Könige</i>
7	土	
8	日	中3実力模試
9	月	3学期始業式 中・課題テスト
10	火	中・課題テスト 中・部活 鉄棒週間(～27日)
11	水	中12・実力テスト 小・朝会⑩ 小・部活
12	木	中・朝会⑧
13	金	餅つき大会 中・部活
14	土	
15	日	
16	月	小・委員会(後⑤)
17	火	中・部活 MT交流(小2バリザ一校訪問:1～4H)
18	水	書き初め大会 小・部活
19	木	職員会議
20	金	中・部活 ※保護者役員会⑦
21	土	
22	日	
23	月	小・クラブ(後⑤)
24	火	中・部活 消防署見学(小3)
25	水	小・部活 BMW見学(小5)
26	木	職員研修(研究)
27	金	小・朝会⑪ 中・部活
28	土	
29	日	<u>漢字検定</u>
30	月	小・クラブ(後⑥)
31	火	中・部活